



# 平成23年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)

平成23年1月27日

上場取引所 東大

上場会社名 株式会社 日阪製作所

コード番号 6247 URL <http://www.hisaka.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 村上 壽憲

問合せ先責任者 (役職名) 取締役経営管理部長 (氏名) 小西 康司

TEL 06-6201-3532

四半期報告書提出予定日 平成23年2月14日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

## 1. 平成23年3月期第3四半期の業績(平成22年4月1日～平成22年12月31日)

### (1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
23年3月期第3四半期	14,605	△23.1	787	△42.2	975	△36.3	555	27.9
22年3月期第3四半期	18,998	△29.5	1,361	△62.6	1,531	△61.0	434	△42.5

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
23年3月期第3四半期	17.09	—
22年3月期第3四半期	13.36	—

### (2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
23年3月期第3四半期	48,169	41,802	86.8	1,287.13
22年3月期	45,928	40,346	87.8	1,242.03

(参考) 自己資本 23年3月期第3四半期 41,802百万円 22年3月期 40,346百万円

## 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
22年3月期	—	12.00	—	12.00	24.00
23年3月期	—	9.00	—		
23年3月期 (予想)				9.00	18.00

(注)当四半期における配当予想の修正有無 無

## 3. 平成23年3月期の業績予想(平成22年4月1日～平成23年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	20,000	△18.3	1,000	△38.1	1,200	△33.9	700	15.5	21.55

(注)当四半期における業績予想の修正有無 無

4. その他（詳細は、【添付資料】P.4「2. その他の情報」をご覧ください。）

(1) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の適用 有

（注）簡便な会計処理及び四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用の有無となります。

(2) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

① 会計基準等の改正に伴う変更 有

② ①以外の変更 無

（注）「四半期財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更」に記載される四半期財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の有無となります。

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む） 23年3月期3Q 32,732,800株 22年3月期 32,732,800株

② 期末自己株式数 23年3月期3Q 255,212株 22年3月期 248,179株

③ 期中平均株式数（四半期累計） 23年3月期3Q 32,482,399株 22年3月期3Q 32,488,246株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表の四半期レビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

業績予想につきましては、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づいて判断しており、多分に不確定要素を含んでおります。実際の業績は、業況の変化等により予想数値と異なる可能性があります。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期の業績等に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する定性的情報 .....	2
(2) 財政状態に関する定性的情報 .....	3
(3) 業績予想に関する定性的情報 .....	3
2. その他の情報 .....	4
(1) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の概要 .....	4
(2) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の概要 .....	4
3. 四半期財務諸表 .....	5
(1) 四半期貸借対照表 .....	5
(2) 四半期損益計算書 .....	7
(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書 .....	8
(4) 継続企業の前提に関する注記 .....	9
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記 .....	9
(6) セグメント情報 .....	9
4. 補足情報 .....	10
(1) セグメント別売上高 .....	10
(2) セグメント別受注高及び受注残高 .....	10

## 1. 当四半期の業績等に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する定性的情報

当第3四半期累計期間(平成22年4月1日～平成22年12月31日)におけるわが国経済は、新興国の経済成長による企業業績の回復やエコ関連政策による個人消費の押し上げがあったものの、依然として雇用環境は厳しく、円高の長期化やデフレ進行等により景気の先行きは不透明な情勢の中で推移いたしました。

このような状況の中、当社は縮小する国内市場の営業強化とグローバル化の推進、新製品の開発、コスト削減等に取り組んだことにより、案件数が増加するなど回復の兆しが見えたものの、受注環境は円高による競争激化や製品単価の下落などにより、想定よりも緩やかなものとなりました。売上については、短納期品の積み上げなどにより年間計画の達成が見込める水準となり、営業利益についても計画の範囲内で推移いたしました。また、平成22年9月より稼働しております中国現地法人の日阪(常熟)機械科技有限公司は初出荷を終え順調な滑り出しとなっております。

以上の結果、当第3四半期累計期間の受注高は14,020百万円(前年同期比109.5%)、売上高は14,605百万円(同76.9%)となりました。

利益面につきましては、営業利益は787百万円(同57.8%)、経常利益は975百万円(同63.7%)、四半期純利益は555百万円(同127.9%)となりました。

また、全社の輸出売上高は2,472百万円(同34.3%)、輸出売上比率は16.9%(前年同期37.9%)となっております。使用総資本は48,169百万円(前期末比104.9%)、うち自己資本は41,802百万円(同103.6%)で、自己資本比率は86.8%(前期末87.8%)となりました。

次にセグメント別の概況を申し上げます。

#### <セグメント別概況>

##### 『熱交換器事業』

受注については、国内景気の緩やかな回復に加え、省エネ関連設備向けや新興国向け設備投資が活発化し、中小型の基盤機種種の受注台数は金融危機前の水準近くに達するなど、回復基調で推移いたしました。一方海外の大型プラント案件については、引合案件数は増加し、一部正式受注があったものの、殆どの案件は第四半期以降の決定に持ち越されております。

売上・セグメント利益については、受注残に加え短納期品の積み上げにより、計画の範囲内で堅調に推移いたしました。

以上の結果、熱交換器事業の受注高は7,388百万円(前年同期比105.9%)、売上高は8,108百万円(同61.2%)、セグメント利益は868百万円となりました。

##### 『生活産業機器事業』

受注については、食品業界の設備投資が回復してきており、当社主力製品の食品・液体殺菌装置の受注が増加いたしました。また、染色仕上機器では、ポリエステルやナイロン生地染色に適した液流染色機Circularの引き合いが国内外の繊維加工メーカーから増加しており、年間計画を上回る見込みとなっております。反面、医薬機器においては、顧客の設備投資が少なく、低調に推移いたしました。

売上については、短納期品の期中積み上げを行い、第3四半期にかけ増加傾向となりましたが、セグメント利益については、好採算アイテムが少なかったことや、価格競争が厳しかったことなどから損失が拡大いたしました。

以上の結果、生活産業機器事業の受注高は4,531百万円(前年同期比110.4%)、売上高は4,430百万円(同115.2%)、セグメント損失は124百万円となりました。

##### 『バルブ事業』

受注・売上については、重点市場への取り組み強化とチョコレート用セミジャケットバルブ、ガス用三方弁などの特殊バルブをニッチな分野に投入し、期中積み上げを行ったことにより期初計画どおりに進捗いたしました。また、摺動しないボールバルブ「D u a x」の用途拡大などの市場開拓を行い、今後に期待が持てる状況となりました。

セグメント利益については、徹底的なコストダウンと採算の見直しにより黒字が定着する状況まで回復いたしました。

以上の結果、バルブ事業の受注高は2,100百万円(前年同期比122.1%)、売上高は2,066百万円(同109.1%)、セグメント利益は42百万円となりました。

(2) 財政状態に関する定性的情報

① 当第3四半期末における各貸借対照表項目の増減要因は次のとおりであります。

(資産)

当第3四半期末の資産は48,169百万円となり、前事業年度末45,928百万円から2,241百万円の増加となりました。

これはたな卸資産825百万円の減少や有形固定資産659百万円の減少等があったものの、現金及び預金1,362百万円の増加や投資有価証券2,503百万円の増加等が上回ったことによります。

(負債)

当第3四半期末の負債は6,366百万円となり、前事業年度末5,581百万円から784百万円の増加となりました。

これは未払消費税等415百万円の減少や賞与引当金219百万円の減少等があったものの、仕入債務611百万円の増加や繰延税金負債648百万円の増加等が上回ったことによります。

(純資産)

当第3四半期末の純資産は41,802百万円となり、前事業年度40,346百万円から1,456百万円の増加となりました。

これは配当金682百万円の支払があったものの、四半期純利益555百万円の計上やその他有価証券評価差額金1,558百万円の増加等があったことによります。

② キャッシュ・フローの状況

当第3四半期末における現金及び現金同等物（以下「資金」という）は、未払消費税等の減少による支出469百万円や固定資産の取得による支出445百万円、配当金の支払による支出682百万円等の減少要因があったものの、税引前四半期純利益882百万円の計上やたな卸資産の減少783百万円、仕入債務の増加611百万円等の増加要因があったことにより、前事業年度末1,647百万円から1,362百万円増加し、当第3四半期末では3,009百万円となりました。

当第3四半期における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果、得られた資金は2,900百万円となりました。

これは未払消費税等の支払や賞与引当金の減少等による支出があったものの、税引前四半期純利益の計上やたな卸資産の減少、仕入債務の増加等による収入が上回ったことによります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果、支出した資金は844百万円となりました。

これは主に固定資産の取得や関係会社への増資及び短期貸付金の増加によるものです。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果、支出した資金は693百万円となりました。

これは主に配当金の支払によるものです。

(3) 業績予想に関する定性的情報

今後の経済動向は、新興国を中心とした経済成長に乗った生産拡大が続くと予想されますが、円高長期化の影響から国内産業にとっては未だ厳しい状況が続くものと想定しております。

この状況の中、合理化や経費削減はもちろん、中国現地法人での生産を軌道に乗せるなど、グローバル拠点の更なる事業展開を図ることで一層の競争力向上に努め、業績の拡大に努めてまいります。

これらの施策を推し進める中、今期の業績予想に関しましては、受注高については海外の大型案件の動向に大きく左右される可能性があるため、期初計画の200億円（「平成22年3月期決算短信」業績予想参考値）から乖離する可能性があります。売上高及び利益につきましては平成22年10月25日公表の「業績予想の修正に関するお知らせ」から変更はございません。

## 2. その他の情報

### (1) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の概要

#### (一般債権の貸倒見積額の算定方法)

当第3四半期会計期間末の一般債権に係る貸倒引当金は、前事業年度末に算定した貸倒実績率等から著しい変化が無いと認められるため、前事業年度末の貸倒実績率等を用いて算定しております。

#### (棚卸資産の評価方法)

当第3四半期会計期間末の棚卸高の算出に関しては、実地棚卸を省略し、第2四半期会計期間末の実地棚卸高を基礎として合理的な方法により算定しております。

また、棚卸資産の簿価切下げに関しては、収益性の低下が明らかなものについてのみ正味売却価額を見積り、簿価の切下げを実施しております。

#### (固定資産の減価償却費の方法)

減価償却の方法として定率法を採用しているものについては、当事業年度に係る減価償却費の額を期間按分する方法により算定しております。

### (2) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の概要

#### (資産除去債務に関する会計基準の適用)

当第1四半期より、「資産除去債務に関する会計基準」(企業会計基準第18号 平成20年3月31日)及び「資産除去債務に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第21号 平成20年3月31日)を適用しております。

なお、これによる損益への影響はありません。

3. 四半期財務諸表  
 (1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	当第3四半期会計期間末 (平成22年12月31日)	前事業年度末に係る 要約貸借対照表 (平成22年3月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	3,009,864	1,647,435
受取手形及び売掛金	7,546,801	7,626,826
商品及び製品	1,288,814	1,689,091
仕掛品	1,675,327	770,576
原材料及び貯蔵品	925,885	2,255,766
繰延税金資産	773,860	947,890
その他	1,040,994	746,846
貸倒引当金	△10,000	△20,000
流動資産合計	16,251,548	15,664,433
固定資産		
有形固定資産		
建物(純額)	9,168,078	9,712,560
機械及び装置(純額)	2,551,788	2,989,053
その他(純額)	2,355,199	2,033,375
有形固定資産合計	14,075,067	14,734,989
無形固定資産		
ソフトウェア	71,626	74,527
その他	7,101	11,361
無形固定資産合計	78,727	85,888
投資その他の資産		
投資有価証券	15,508,513	13,004,855
その他	2,936,176	3,108,171
貸倒引当金	△680,375	△669,730
投資その他の資産合計	17,764,314	15,443,296
固定資産合計	31,918,109	30,264,174
資産合計	48,169,657	45,928,607

(単位：千円)

	当第3四半期会計期間末 (平成22年12月31日)	前事業年度末に係る 要約貸借対照表 (平成22年3月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	4,149,484	3,538,345
未払法人税等	12,156	—
未払消費税等	—	415,290
製品保証引当金	63,900	60,100
賞与引当金	200,007	420,000
その他	872,263	851,406
流動負債合計	5,297,810	5,285,142
固定負債		
退職給付引当金	385,951	263,354
繰延税金負債	648,055	—
その他	34,903	33,264
固定負債合計	1,068,909	296,619
負債合計	6,366,720	5,581,762
純資産の部		
株主資本		
資本金	4,150,000	4,150,000
資本剰余金	8,814,450	8,814,450
利益剰余金	26,877,524	27,004,540
自己株式	△245,471	△238,620
株主資本合計	39,596,503	39,730,369
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	2,160,485	601,686
繰延ヘッジ損益	45,947	14,788
評価・換算差額等合計	2,206,432	616,475
純資産合計	41,802,936	40,346,845
負債純資産合計	48,169,657	45,928,607

(2) 四半期損益計算書  
(第3四半期累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年12月31日)	当第3四半期累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年12月31日)
売上高	18,998,332	14,605,623
売上原価	15,520,273	11,867,560
売上総利益	3,478,058	2,738,062
販売費及び一般管理費	2,116,538	1,950,843
営業利益	1,361,520	787,218
営業外収益		
受取利息	105,809	77,634
受取配当金	127,086	116,082
その他	28,975	15,054
営業外収益合計	261,870	208,770
営業外費用		
支払利息	8,306	2,171
休止固定資産維持費用	68,377	15,335
その他	14,870	3,175
営業外費用合計	91,554	20,682
経常利益	1,531,837	975,306
特別利益		
貸倒引当金戻入額	—	10,000
固定資産解体費用戻入額	—	13,371
固定資産売却益	—	41,064
特別利益合計	—	64,436
特別損失		
固定資産除却損	726,418	—
有価証券評価損	133,800	147,192
建物解体撤去費用	—	10,000
貸倒引当金繰入額	50,000	—
特別損失合計	910,218	157,192
税引前四半期純利益	621,618	882,550
法人税、住民税及び事業税	208,000	219,500
法人税等調整額	△20,512	107,910
法人税等合計	187,487	327,410
四半期純利益	434,130	555,140

## (3) 四半期キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第3四半期累計期間 (自 平成21年4月1日 至 平成21年12月31日)	当第3四半期累計期間 (自 平成22年4月1日 至 平成22年12月31日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税引前四半期純利益	621,618	882,550
減価償却費	1,418,560	1,152,227
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	50,784	645
製品保証引当金の増減額 (△は減少)	△58,100	3,800
賞与引当金の増減額 (△は減少)	△426,304	△219,993
退職給付引当金の増減額 (△は減少)	—	122,596
受取利息及び受取配当金	△232,895	△193,716
支払利息	8,306	2,171
為替差損益 (△は益)	410	0
有価証券評価損益 (△は益)	133,800	147,192
固定資産売却損益 (△は益)	—	△41,064
固定資産除却損	726,418	—
建物解体撤去費用	—	10,000
売上債権の増減額 (△は増加)	3,098,752	80,025
たな卸資産の増減額 (△は増加)	4,956,237	783,221
仕入債務の増減額 (△は減少)	△4,030,508	611,138
未払消費税等の増減額 (△は減少)	342,903	△469,133
その他	△616,628	△74,533
小計	5,993,355	2,797,129
利息及び配当金の受取額	233,628	193,511
利息の支払額	△8,306	△2,171
法人税等の支払額	△1,179,247	△87,748
営業活動によるキャッシュ・フロー	5,039,430	2,900,721
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
有価証券の売却による収入	500,000	—
固定資産の取得による支出	△475,892	△445,211
固定資産の売却による収入	2,000	59,613
投資有価証券の取得による支出	△6,213	△22,184
投資有価証券の売却による収入	300,000	—
関係会社株式の取得による支出	△717,320	—
関係会社増資による支出	—	△200,000
関係会社貸付けによる支出	—	△80,000
関係会社貸付金の回収による収入	—	50,000
短期貸付金の増減額 (△は増加)	237,000	△206,000
その他	446,061	△758
投資活動によるキャッシュ・フロー	285,635	△844,540
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	△3,200,000	—
自己株式の取得による支出	△4,914	△6,850
配当金の支払額	△844,719	△682,155
リース債務の返済による支出	△4,373	△4,744
財務活動によるキャッシュ・フロー	△4,054,007	△693,751
現金及び現金同等物に係る換算差額	△410	△0
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	1,270,647	1,362,429
現金及び現金同等物の期首残高	930,510	1,647,435
現金及び現金同等物の四半期末残高	2,201,158	3,009,864

## (4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

## (5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

## (6) セグメント情報

当社の報告セグメントは、当社の構成単位のうち分離された財務情報が入手可能であり、取締役会が、経営資源の配分の決定及び業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっているものであります。

当社は、事業所に製品・サービス別の事業本部を置き、各事業本部は取り扱う製品・サービスについて国内及び海外の包括的な戦略を立案し、事業活動を展開しております。

したがって、当社は事業本部を基礎とした製品・サービス別のセグメントから構成されており、「熱交換器事業」「生活産業機器事業」及び「バルブ事業」の3つを報告セグメントとしております。

なお、報告セグメントの概要は次のとおりです。

熱交換器事業は、プレート式熱交換器やブレイジングプレート式熱交換器等を製造・販売しております。

生活産業機器事業は、レトルト食品殺菌装置や無菌米飯ブランド、液体連続殺菌装置、医療用滅菌装置、染色仕上機等を製造・販売しております。

バルブ事業はボールバルブを製造・販売しております。

## 2. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

当第3四半期累計期間（自平成22年4月1日 至平成22年12月31日）

(単位：千円)

	報告セグメント			合計	調整額 (注) 1	四半期 損益計算書 計上額 (注) 2
	熱交換器 事業	生活産業機器 事業	バルブ 事業			
売上高						
外部顧客への売上高	8,108,267	4,430,720	2,066,634	14,605,623	—	14,605,623
セグメント間の内部 売上高又は振替高	326,660	787	54,840	382,288	(382,288)	—
計	8,434,927	4,431,508	2,121,475	14,987,911	(382,288)	14,605,623
セグメント利益又は損 失(△)	868,939	△124,078	42,411	787,272	(54)	787,218

(注) 1. セグメント利益又は損失の調整額は、棚卸資産の調整額△54千円であります。

2. セグメント利益又は損失は、四半期損益計算書の営業利益と調整を行っております。

## 3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

## (追加情報)

当第1四半期会計期間より、「セグメント情報等の開示に関する会計基準」（企業会計基準第17号 平成21年3月27日）及び「セグメント情報等の開示に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第20号 平成20年3月21日）を適用しております。

## 4. 補足情報

## (1) セグメント別売上高

(単位：百万円)

項目	前第3四半期 平成21年4月～平成21年12月		当第3四半期 平成22年4月～平成22年12月		増減金額	前年同期比	(参考)前事業年度 平成21年4月～平成22年3月	
	金額	構成比	金額	構成比			金額	構成比
熱交換器	( 6,138 )	( 32.3 % )	( 1,566 )	( 10.7 % )	( △4,571 )	( 25.5 % )	( 6,722 )	( 27.5 % )
	13,257	69.8	8,108	55.5	△5,149	61.2	16,436	67.2
生活産業機器	( 701 )	( 3.7 )	( 734 )	( 5.0 )	( 33 )	( 104.8 )	( 744 )	( 3.0 )
	3,845	20.2	4,430	30.3	584	115.2	5,549	22.7
バルブ	( 359 )	( 1.9 )	( 171 )	( 1.2 )	( △188 )	( 47.7 )	( 411 )	( 1.7 )
	1,894	10.0	2,066	14.2	171	109.1	2,480	10.1
合計	( 7,198 )	( 37.9 )	( 2,472 )	( 16.9 )	( △4,726 )	( 34.3 )	( 7,878 )	( 32.2 )
	18,998	100.0	14,605	100.0	△4,392	76.9	24,465	100.0

(注) ( )内は輸出額で内書であります。

## (2) セグメント別受注高及び受注残高

(単位：百万円)

項目	前第3四半期 平成21年4月～平成21年12月		当第3四半期 平成22年4月～平成22年12月		増減金額	前年同期比	(参考)前事業年度 平成21年4月～平成22年3月		
	金額	構成比	金額	構成比			金額	構成比	
受注高	熱交換器	( 2,049 )	( 16.0 % )	( 1,724 )	( 12.3 % )	( △325 )	( 84.1 % )	( 2,203 )	( 12.8 % )
		6,978	54.5	7,388	52.7	410	105.9	8,833	51.5
	生活産業機器	( 651 )	( 5.1 )	( 941 )	( 6.7 )	( 289 )	( 144.4 )	( 822 )	( 4.8 )
		4,106	32.1	4,531	32.3	425	110.4	5,861	34.2
バルブ	( 303 )	( 2.4 )	( 199 )	( 1.4 )	( △103 )	( 65.9 )	( 358 )	( 2.1 )	
	1,720	13.4	2,100	15.0	379	122.1	2,443	14.3	
合計	( 3,004 )	( 23.5 )	( 2,865 )	( 20.4 )	( △138 )	( 95.4 )	( 3,384 )	( 19.7 )	
	12,805	100.0	14,020	100.0	1,215	109.5	17,139	100.0	
受注残高	熱交換器	( 3,757 )	( 35.5 )	( 3,485 )	( 39.3 )	( △272 )	( 92.8 )	( 3,327 )	( 35.2 )
		8,487	80.2	6,444	72.7	△2,042	75.9	7,164	75.8
	生活産業機器	( 23 )	( 0.2 )	( 358 )	( 4.1 )	( 334 )	( 1496.3 )	( 151 )	( 1.6 )
		1,767	16.7	1,920	21.6	153	108.7	1,819	19.2
バルブ	( 59 )	( 0.6 )	( 91 )	( 1.0 )	( 31 )	( 153.6 )	( 63 )	( 0.7 )	
	333	3.1	504	5.7	170	151.2	471	5.0	
合計	( 3,841 )	( 36.3 )	( 3,935 )	( 44.4 )	( 94 )	( 102.5 )	( 3,542 )	( 37.5 )	
	10,588	100.0	8,869	100.0	△1,718	83.8	9,455	100.0	

(注) ( )内は輸出額で内書であります。